



「ヨシタケシンスケ展かもしれない」×山口銘菓「月でひろった卵」
ヨシタケシンスケ氏描き下ろし！“月面でのおしごと”を描いた限定パッケージが登場
2026/2/21(土)～2026/4/12(日)展覧会会場限定販売

あさひ製菓株式会社（本社：山口県柳井市、代表取締役社長：坪野 恒幸）の運営する和洋菓子専門店「果子乃季」は、山口県で開催される絵本作家・ヨシタケシンスケ氏の大規模展覧会「ヨシタケシンスケ展かもしれない」開催を記念して、ヨシタケシンスケ氏描き下ろしイラストがパッケージにデザインされた「月でひろった卵」を発売いたします。本商品は、展覧会会場内のショップでのみ手に入る、特別な山口のお土産です。

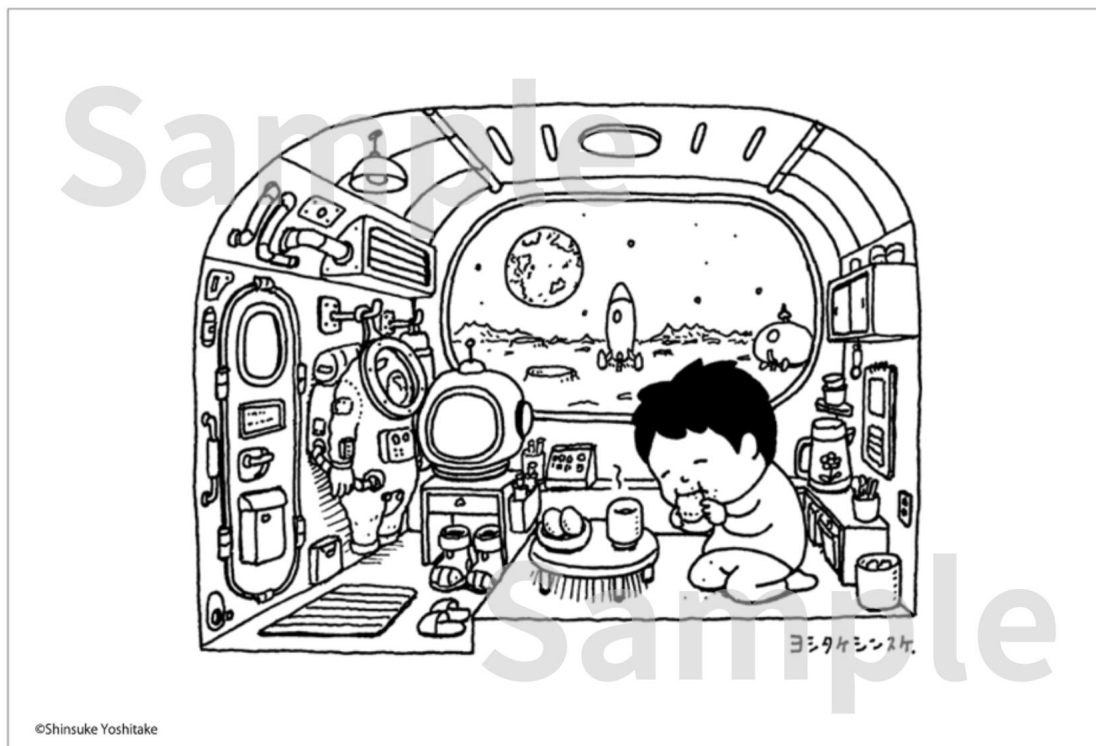
ヨシタケシンスケ氏初の大規模展覧会「ヨシタケシンスケ展かもしれない」とは

絵本作家としてのデビュー作『りんごかもしれない』（2013年、ブロンズ新社）以降、子どもから大人までを虜にしているヨシタケシンスケ氏。

展覧会では、作家の発想の源である小さなスケッチや絵本原画、本展覧会のためにヨシタケシンスケ氏が考案した立体物、愛蔵の私物コレクションなど約400点が展示されます。ヨシタケシンスケ氏の「頭のなか」をのぞけるような展覧会です。

ヨシタケシンスケ氏描き下ろし“月面でのおしごと”を描いた特別なパッケージ

今回、展覧会会場限定で発売するのは、ヨシタケシンスケ氏がこのために描き下ろした限定デザインパッケージの「月でひろった卵」。



▲月面でのおしごと中のワンシーンを描いた描き下ろしパッケージイラスト

山口県を代表する銘菓でありながら、その商品名が、ヨシタケシンスケ氏の「かもしれない」という想像力を刺激する不思議な響きを持つ「月でひろった卵」。

ヨシタケシンスケ氏が「もしも月面でおしごとをしたら？」を妄想して描き下ろされたイラストには、遠くに地球を望むお部屋でおしごとをしている少年が、「月でひろった卵」を食べて、ほっとひと息ついているワンシーンが描かれています。

今回はあえて「モノクロ」で表現することで、展覧会の目玉でもある膨大な「スケッチ」の世界観とリンクさせています。作家の筆致をダイレクトに感じられる、山口会場限定の貴重なデザインです。

「“月でひろった卵”という名前を持つ商品だったからこそ実現した今回のコラボレーション。小さなお子様から大人の方まで展覧会には山口県内外から多くの方がいらっしゃると思いますので、みなさんがどんな反応をしてくださるのか、とても楽しみにしています！展覧会の思い出、そして、山口の思い出としてぜひ手に取って楽しんでいただけると嬉しいです。」と坪野社長。

「ヨシタケシンスケ展かもしれない」限定パッケージの月でひろった卵 商品詳細

【価格】

6 個入：2,000 円（税込）

※箱の中に、パッケージと同じデザインのポストカードが1枚封入されています。

【販売場所】

「ヨシタケシンスケ展かもしれない」会場内ショップ限定販売

防府市地域交流センター（アスピラート）1F 市民スペース（防府市戎町1-1-28 笑顔満開通り）

【展覧会概要】

ヨシタケシンスケ展かもしれない

2026年2月21日(土)～4月12日(日) 10:00-17:00 ※火曜日は休館

防府市地域交流センター（アスピラート）2F 展示ホール（防府市戎町1-1-28 笑顔満開通り）

【展覧会情報サイト URL】

<https://yoshitake-ten.exhibit.jp/>

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

あさひ製菓株式会社 山口オフィス 宮川（みやがわ）

電話：080-1921-6008 / E-mail：y-miyagawa@kasinoki.co.jp

<https://www.kasinoki.co.jp>